

すぐに使える暮らしのマメ知識

家庭の^{LIFE TIPS}小技

ニットのせんたく

寒くなると活躍の場が増えるニット。
マメにキレイにしておきたいけど、
お気に入りの大事なニットを洗濯で台無しにしないために
知っておきたい、いくつかの知識をご紹介します！

これはやっちゃダメ！ ニット手洗い3つのタブー



3

脱水は自ら行うべからず



手洗い後の脱水は、水がしたたるような状態で干すと型崩れの原因となるので、ある程度の脱水が必要です。手で脱水しようとする、ニットのねじったりして素材にダメージを与えてしまいます。軽く水分を取ってから、型崩れやダメージを減らすためネットに入れ、洗濯機を使いましょう。ですが、時間は長くても30秒までにしてください。

2

10分以上洗うべからず



手洗いをする際に長時間水につけていると素材が傷んでしまいます。時間は5分程度で、長くても10分で終わらせましょう。シミができてしまった場合には、手洗いをする前にシミの部分だけシミ抜きをしておきます。時間が経つにつれて取り除くのが難しくなりまますので、できるだけ当日か、翌日には処置をしましょう。

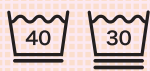
1

熱いお湯は使うべからず



ニットはとてもデリケートな素材です。熱いお湯は縮みの原因になるので、ニットを手洗いする際の適温は約30度。手をつけてちよっとぬるいと感じる位が適しています。ニットを手洗いする際には、洗い専用の洗濯桶とすすぎ専用の洗濯桶の2つを準備し、どちらにもぬるま湯を入れておくと、手洗いがスムーズにできます。

タグの洗濯表示も
必ずチェックしよう



洗濯機・手洗いで洗う場合の液温や水流の弱さの表示。
数字は温度、下線は弱さを表します。
二本線ならごく弱く。



P: パークロロエチレンまたは石油系溶剤でのドライクリーニングが可能。
F: 石油系溶剤のドライクリーニングのみ可能。



W: ウェットクリーニング可能。
下線は「弱く」。

主な洗濯マーク(国際標準)



漂白剤の使用表示。
塩素系/酸素系どちらも使用可能。



酸素系のみ使用可能。
塩素系は使用できません。



吊り干し



ぬれ吊り干し



平干しで
陰干し



(斜線は陰干し)

※マークは一例です。

これ重要！

洗えるかどうかの確認



→ 洗濯機OK



→ 手洗いOK



→ 家庭での
洗濯NG

ニットやセーターを洗濯した後の正しい干し方と注意点

ニット・セーターは平干しするのがベスト

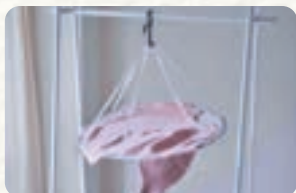
ニットやセーターの素材は伸縮性に富んでいます。長時間にわたって同じ方向に強く引っ張られると、生地が伸びて型崩れしてしまいます。

ニットは1度型崩れすると、元に戻すのが困難です。で、床に平置きした状態を保ったままで干す「平干し」をするのがベストです。



平干しネット

最もおすすめの方法は、ホームセーターなどで販売されている平干しネットを使用することです。名前の通り、平干しのために作られたアイテムで、円盤状になった薄いネットが3〜5つほど縦に並んだ形のものもあります。ニットのセーターを型を整えて平干しにのせるだけでOKです。



ピンチハンガーやバスタオルハンガーを利用

ピンチハンガーは天面部分が大きめの物であればセーターやニットを広げてのせれば平干しにも活用できます。バスタオルハンガーがあれば、ハンガーを広げた状態でニットのせて、平干し

ネットの代用にできます。袖が下についてしまう可能性があるので、胴体部分に重ねるようにして干しましょう。



ハンガーを組み合わせて使う

2本のハンガーを少し間をあけて物干し竿にかけ、ニットやセーターの胴体部分をハンガーの穴に通せば、水平の状態を保ったまま干すことができます。袖の部分は下に垂らすと伸びてしまう可能性があるので物干し竿にかけ、あるいはもう1本ハンガーを追加して穴に通しておきましょう。



ニットやセーターの絶対NGな干し方



●ハンガーにそのまま掛ける

ニットやセーターをそのままハンガーに掛けると、肩や首の部分が横に伸びてしまうことがあります。特に体にぴったりフィットするタイプのニットは型崩れしやすいので、絶対に避けましょう。



●ピンチではさんで干す

ニットやセーターはデリケートなので、ピンチ跡が生地に残ってしまう可能性があるためピンチではさむのはやめましょう。



おすすめ商品

ジョイベック S プレミアム (500g)

発売以来33年! 化粧品原料が主成分のやさしいドライマーク衣類用の洗濯洗剤です。植物系洗浄成分の働きで、柔軟剤不要でふんわりと洗い上げます。排水後に微生物により分解される生分解性に優れ、人や環境にやさしい洗剤です。(液性: 中性)

〈使用方法〉

つけ込み5分、すすぎは1回でOK。ウールやシルクだけでなく高級素材のおしゃれ着や、学生服、ダウンジャケットも洗濯機で洗えます。



●黄ばみやシミの処理はクリーニングで

ハイスペックな洗濯機が販売されており、衣類に合わせた洗濯洗剤もある今では、セーター等の繊細な生地のものでも自宅洗いもできます。しかし、市販の洗濯洗剤は生地を傷めない優しい成分のものがほとんどなので、汚れが落ちきらず繊維の中に蓄積し、シミや黄ばみの原因となる場合があります。

クリーニングであれば、特殊な溶剤を使用したり、特別な工程で繊維の奥まで汚れを落とすことが出来ますので、頑固なシミや黄ばみに変化することは少なくなります。

自宅洗濯との違いを理解して、使い分けましょう。

●クリーニング相場と頻度

セーターのクリーニング料金は、一般的なクリーニング店で400〜500円程度です。ウェットクリーニングなど生地にあった洗い方を行ってくれるようなクリーニング店で1,500〜3,000円が相場と言われています。クリーニング頻度は、ワンシーズン着用ごとに1回は「仕舞洗い」することをお勧めします。その他、汚れがついた時や汗をかいたときなど、しっかりと汚れ落としが必要となきも早めのクリーニングがお勧めです。



自宅洗濯とクリーニング